

諏訪湖周クリーンセンター建設

ecoポップ通信

■諏訪湖周クリーンセンター建設工事について

現在、諏訪湖周クリーンセンター建設に向けての設計協議を、毎月2回程度行なっています。協議では、工場棟の外観・意匠から、施設内の道路、建物内の配置、さらには機械・設備の仕様に至るまで、あらゆる内容について意見が交わされています。2市1町のシンボルとなり、地域の皆様に安心してごみ処理を託していただくことのできる施設を創り上げるべく、誠心誠意取り組んでおりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

■新施設の紹介(第1回)

今月号より、諏訪湖周クリーンセンター建設工事の設計協議にて決定した事項について、簡単に紹介していきます。今回は、施設の顔となる工場棟の外観・意匠について取り上げます。



◆ 周辺環境との調和

当施設に隣接するやまびこ公園や前面道路からの景観に配慮し、建屋の向き・高さの工夫や、緑地帯の設置等により、圧迫感を低減しています。

【過去】 白色リブ付き外壁
“白く美しい繊細な生糸“を表現

【現在】 ガラス窓・金属パネル
“先端技術の発展“を表現

【未来】 緑豊かな周辺環境に
マッチした壁面
“環境との共生“を表現



◆ 地域の歩みを象徴した外観デザイン

工場棟の外観は、「生糸の都」として栄えた過去、スマートデバイス等の「先端技術の発展」を遂げている現在、そして「環境との共生」を掲げる未来を象徴したデザインとします。

■工事現場見学会を開催しました！

平成26年3月15日(土)に、建設予定地周辺にて工事現場見学会を行いました。一般市民の方々を対象とした初めての現場見学会を計画したところ、約100名の方々に参加していただきました。

たくさんのご参加、ありがとうございました。

当日は、大型クレーンを用いた煙突の解体状況や植生ブロック積の施工状況等を見学しました。二重構造である煙突の外筒上部は、特殊なワイヤーで輪切りに切断して撤去しました。



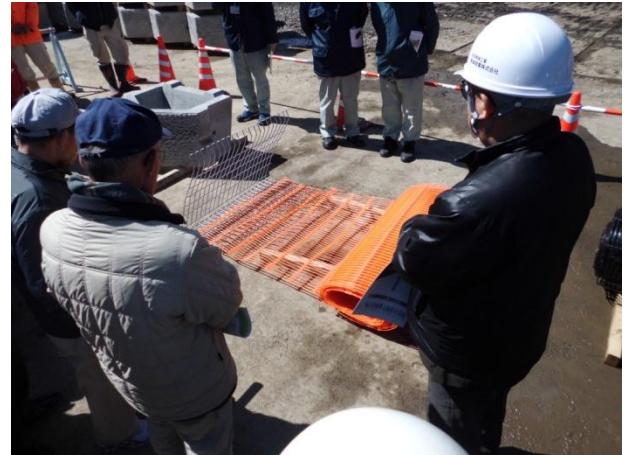
輪切りした煙突の一部を大型クレーンでつり上げる様子を、鳥居平やまびこ公園駐車場より見学しました。



続いて、工事現場近くまで移動し、大型クレーンを間近で見学しました。



クレーンでつり上げられていた煙突(外筒)の一部です。コンクリート片は、幅が4.5m×4.5m、高さ1.4mで、重さが10.8tあります。



そのほかにも、建屋解体に使用する破碎重機や、造成工事の植生ブロック・補強土壁資材を見学しました。

次回の工事現場見学会は、平成26年6月頃を予定しています。

多くの皆様のご参加をお待ちしております！！

●●●3月の工事進捗状況●●●

①岡谷市清掃工場解体工事

- 工場棟内部機器解体
工場棟の内部機器の解体工事を行いました。
- 煙突解体
煙突内部の内筒と煙突本体(外筒)の解体を行いました。



工場棟内部機器解体状況



煙突本体(外筒)の解体状況

②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 植生ブロック積工 敷地西側の植生ブロック工事を行いました。
- 既設構造物取壊し 敷地北側の擁壁の取壊しを行いました。



植生ブロック積施工完了箇所



構造物取壊し状況

③諏訪湖周クリーンセンター建設工事

- 実施設計 組合とタクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体で設計協議を行いました。

●●●4月の工事予定●●●

①岡谷市清掃工場解体工事

- 工場棟内部解体
引き続き工場棟の内部機器の解体工事を行います。
- 煙突解体
引き続き煙突の内筒・外筒の撤去作業を行います。
- 建屋解体
工場等の建屋の解体を行います。



建屋解体(イメージ)

②諏訪湖周クリーンセンター敷地造成工事

- 植生ブロック工事
引き続き敷地西側の植生ブロック工事を行います。
- 補強土壁工
敷地東側の補強土壁の掘削作業を行います。



補強土壁(イメージ)

③諏訪湖周クリーンセンター建設工事

- 実施設計 組合とタクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体で協議していきます。

■敷地全体状況



2月末時点



3月末時点

発行元 諏訪湖周クリーンセンター整備事業に関する工事等連絡協議会
三井住友・興和工業特定建設工事共同企業体 連絡先: 24-2110
株式会社岡谷組 連絡先: 23-7285
タクマ・岡谷組特定建設工事共同企業体 連絡先: 23-5671(岡谷組)
株式会社三水コンサルタント 連絡先: 03-3980-4132
パシフィックコンサルタンツ 長野事務所 連絡先: 026-228-8118
湖周行政事務組合 連絡先: 23-4811(内線1572・1573)